

ピュアAクラス・バランス増幅回路を採用。 FET入力、双三極管出力の 最新ハイブリッド型ドライバーです。

ハイパワー双三極管“ECC99”搭載の出力段

JJ Electronic社製の真空管は、アッセンブリー精度±0.02ミリ以下、5,000時間に及ぶライフタイム試験をもとに製造される。現在望みうる最良かつ最先端デバイスのひとつとなっています。中でも、“ECC99”はパワーアンプのドライバー段用、およびプリアンプの出力段用に開発されたハイパワー双三極管で、ここではピュアAクラス・バランス増幅回路の出力段に使用。1チューブに2つの三極管が封入されている双三極管の特長を生かして、HOT側、COLD側それぞれの信号を増幅・出力。高いリニアリティと余裕のあるパワーバンド幅で、ダイナミックに変動する音楽信号を忠実に再生します。

マッチドペア・ローノイズFET採用の入力段

入力段には、低ノイズ・高インピーダンスのディスクリートFETを採用。バランス信号のHOT側とCOLD側でミラーイメージの増幅ができるよう、スタックス独自のデバイス選別を行うとともに、熱平衡にも考慮したマッチドペア・ハイブリッド構成で使用しています。これにより、XLRバランス入力の場合には、入力から出力までのストレートなピュアバランス伝送・増幅を実現。また、RCA入力の場合も、反転アンプなどを介さずGND側をCOLD側に導くシンプルな構成とする一方、3系統切換えの入力セレクターにはオーディオ用高音質リレーを使用するなど、音の純度を高くキープしています。

大型トランス、低リップル回路採用の電源部

ピュアバランス伝送・増幅回路を支える電源部には、スタックス・ドライバーの中でも最大級の容量をもつ大型トランスを採用し、ダイナミックレンジを十二分に確保するとともに、電源変動にも揺さぶられない安定した動作を実現。同時に、整流回路には低ノイズ・低損失のショットキーバリアダイオードと大容量コンデンサーを採用し、音質を歪める有害なリップルを徹底して排除。また、出力段のハイパワー双三極管“ECC99”に電源を供給するヒーター電源回路は、左右チャンネル独立構成とし、SN比、セパレーション特性を大きく向上させています。

SRM-600 LIMITED 主な仕様

- 使用真空管：ECC99×2 ●周波数特性：DC～84kHz+0、-3dB ●定格入力レベル：200mV（100V出力時） ●増幅度：54dB（500倍） ●高調波ひずみ率：0.01%以下（1kHz、100Vrms出力時） ●入力インピーダンス：50kΩ（RCA入力）、100kΩ（XLR入力） ●入力端子：RCA2系統（うち、1系統はスルー出力付き）、XLRコネクター1系統 ●最大出力電圧：340Vrms（1kHz） ●バイアス電圧：DC580V×2（PROバイアス） ●電源電圧：AC100V、50/60Hz ●消費電力：52W ●使用温度条件：0～35℃ ●使用湿度条件：90%以下（ただし、結露のないこと） ●大きさ：195（W）×103（H）×380（D）mm（最大突起部を含む） ●重量：4.6kg ●XLR端子極性：1番GND、2番HOT、3番COLD（ヨーロッパ方式）

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。 ※この製品は日本国内専用です。海外ではお使いになれません。



高音質4連ボリュームなどの厳選パーツ使用

左右チャンネル、HOT・COLDの入力レベルを調整する二重軸構造の高音質4連ボリュームを採用。また、負荷抵抗には、非磁性素材を使用したオーディオ用・炭素皮膜抵抗器を採用。このほか、回路定数の見直しを行うとともに、フロントパネルは精悍なブラック・アルミヘアライン仕上げとするなど、細部にわたってブラッシュアップをはかっています。

XLR1系統、RCA2系統の3系統入力を装備

高級CD/SACDプレーヤーなどに装備されているXLRバランス出力を、ダイレクトに入力できるXLR入力を1系統装備。さらに、RCA入力を2系統装備し、複数のソース機器を接続・切換え可能。また、RCA2系統のうち、1系統はスルー出力付きになっていますので、お手持ちのプリメインアンプへ分配するなど、フレキシブルなシステムアップができます。

○スタックス製品のお求めは、信用ある当店で。

STAX 株式会社 スタックス
〒354-0046 埼玉県入間郡三芳町竹間沢東7-1
TEL：049-258-2660
FAX：049-258-2659
URL：www.stax.co.jp